

授業科目 臨床検査総論実習Ⅰ

【担当教員名】 長濱 大輔		対象学年	2	対象学科	臨床
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	45
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		態度	
◎		◎		○	
【概要・一般目標：GI0】 一般臨床検査は、定性・半定量検査を手法としたスクリーニング検査である。現在、尿検査のほとんどが簡便な試験紙法で行われている。検査の臨床的意義の把握は勿論のこと、操作法の習得、原理、測定上の注意点、感度、特異度等についても理解を深める。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 採血の方法や注意点を説明できる。 2. 各種の尿検査の実際とその原理、そして臨床的意義について説明できる。 3. 腎機能検査法の種類、方法・原理・臨床的意義について学ぶ。 4. 一般検査結果の解釈について説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1、2	採血法と検体の取り扱い方法			1	実習
3、4	尿コントロール液（人工尿）の作製			2	実習
5、6	尿試験紙の特徴、使用方法と注意点			2	実習
7、8	尿の性状と物理的検査			2	実習
9、10	尿タンパク定性・半定量・定量検査、微量アルブミン定性・半定量検査			2	実習
11、12	尿糖定性・半定量・定量検査			2	実習
13、14	尿ケトン体・ビリルビン・ウロビリノゲンの定性・半定量検査			2	実習
15、16	血尿の証明法（潜血反応と尿沈渣中赤血球）			2	実習
17、18	BJPの定性試験、尿中薬剤性物質			2	実習
19、20	腎機能検査			3	実習
21、22	一般検査データの評価			4	実習
23	まとめ			1-4	実習
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		臨床検査学講座 臨床検査総論 第3版	三村 邦裕、鈴木 敏恵、宿 谷 賢一 他	医歯薬出版株式会社	2014・3,200円
参考書		尿検査 その知識と病態の考え方 標準臨床検査学 臨床検査総論	河合 忠、浅野 泰、伊藤 善久 伊藤機一、松尾収二	メディカル・ジャー ナル社 (株)医学書院	1992・2,427円 2013・3,000円
その他の資料					
【評価方法】 レポート（10%） 定期試験（90%）		【履修上の留意点】 臨床検査に関する基本的な技術を習得するので、できるだけ繰り返し行うこと。			